

「計数データの統計学 第3版」 訂正表

行数は節番号, 数式, 表を含めずにカウントしている.

下10は下から10行目, 下2式は下から2番目の式であることを示す.

頁	行	訂正前	訂正後
p4	下10	残りの項は	その他の項は
p10	下2式(分母)	$P(\bar{A} \bar{A} \text{ かつ } H)$	$P(\bar{A} \bar{B} \text{ かつ } H)$
p16	3式(分母)	$5 \times 3 \times 4 \times 2 \times 1$	$5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1$
p17	4	生物・	生物科学および
p17	下14	75%より劣る	75%以下である
p18	14	$x=23$ か $x=24$	$x=24$ か $x=25$
p25	下12	有意に劣る	有意に高い
p25	下10	有意に良い	有意に低い
p25	下8	6%よりもよくない	6%以上
p25	下2	6%よりもよくはない	6%以上
p25	下1	新薬の6%よりも改善する	新薬のICH発現率は6%未満
p26	下5	内の表現は	内の式は
p28	下10	ICHの発現率がどの程度であれば,	(削除)
p28	下7	右側の不等式に出てくる P_1 の値は $z_{0.90}=1.282$ と等しい.	不等式の右側を $z_{0.90}=1.282$ と等しくする P_1 の値である.
p30	2式	P	p
p42	表3.1	n_{12}, n_{21}	n_{12} と n_{21} を入れ換える
p60	下1式の分子	$-z_\beta$	$+z_\beta$
p81	表6.2		「A」の下の空白に「 \bar{A} 」を追加

頁	行	訂正前	訂正後
p84	1	関与した	関連した
p90	5	X によりそれを表示できる.	それを X と表示する.
p90	下 8	ω に通じる	ω を通してだけ真の
p91	4	片側対立仮説	対立仮説
p92	式 6.42	$n_{..}, 1, n_{1.}, \omega$	$n_{..}, 1, n_{1.}, \omega$
p93	2 式		分母, 分子とも「 $n_{..}, n_{1.}, n_{.1}, \omega$ 」にする
p94	式 6.46, 式 6.47	X	x
p95	下 1 式		分母の「+」を2つとも「-」にする
p96	4	Levin(1984)は, …与えた.	(この文章を上の方の終わりに続ける.)
p96	下 1	(6.49)式の χ^2 値は,	(この文章を上の方の終わりに続ける.)
p98	下 5	近似なとる	近似となる
p99	式 6.76	antilog(1.96)	antilog(1.68)
p100	4	表 6.7 に示し,	表 6.7 に示す.
p101	下 14	上記の課程は	上記の過程は
p102	1 式	$P[\omega(\{n_{ij}\})]$	$P[\omega_L(\{n_{ij}\})]$
p104	10	p_e が追加	p_e を追加
p108	式 6.100(分子)	0.085	0.0085
p110	4	母確率 P_{ij} のための標本確率 p_{ij} の置換により	母確率 P_{ij} を標本確率 p_{ij} で置き換えて
p110	式 6.111(分子)	$n_{11}+n_{12}$	$n_{11}n_{12}$
p112	下 9	$1/\sqrt{199} = 0.071$	$1/\sqrt{199} = 0.071$

頁	行	訂正前	訂正後
p113	6式	$B_5 = \left(\cdots + \frac{1}{P_3} + \frac{1}{P_4} \right)$	$B_5 = \left(\cdots + \frac{1}{P_1} + \frac{1}{P_2} \right)$
p129	19	排除する	減らす
p129	下5	排除する	減らす
p145	4	2つ確率	2つの確率
p145	下6	が分かる.	(ここでパラグラフを終わらせ、この次から新しいパラグラフにする.)
p163	下6	したがって、…確認に利用できる.	したがって、差 $p_i - \hat{p}_i$ を使って、直線性からの乖離の最も大きなカテゴリーを特定するのにも利用できる.
p166	表 9.6(最下行)	30	100
p169	10	潜在的に連続分布	潜在的な連続分布
p174	4	で比例するからである(9.51).	で比例するからである.
p179	8	例えば、彼女らが	すなわち、彼女らが
p184	15	との差が z 値で、	より有意に小さく z 値は、
p184	式 9.80		分母、分子の「 p 」を「 P 」に変える.
p185	2	右側の項	右辺の項
p185	9	あまりにも多い	あまりにも大きい
p186	式 9.83	$\alpha_g + \beta_j$	$\alpha_g + \beta_j$
p186	表 9.14 出生頻度 2 の列	0.370	0.379
p202	下 10	そもそも…議論されてきた.	(この一文を、1行下の「例えば、…」の文の前に移す.)
p208	2	ω の条件付き	(この文章から新しいパラグラフとする.)
p208	6	regression	regression analysis

頁	行	訂正前	訂正後
p212	下2	高いものに	大きいものに
p214	下7	Mantel-Haenszel の要約推定値	Mantel-Haenszel 要約推定値
p215	式 10.59	$\ln \omega_{MH}$	$\ln \hat{\omega}_{MH}$
p218	下 12, 19	後ろ向き	後向き
p219	2	を層別の根拠として用いる	に基づいて層別を行う
p220	5	検定ための	検定のための
p228	下 5	というものである.	ことに基づいている.
p229	1	真の対数オッズ比	(1 文字下げする)
p234	下 6	一般的な経験ベイズ	一般経験ベイズ
p236	12	$(0, \infty)$ 全部	$(0, \infty)$ の全部
p239	下 6	演算上交絡因子	演算上非交絡因子
p252	15	データのを用いて	データの部分集合を用いて
p256	6	その逆に	(削除)
p257	表 11.2	禁煙者	非喫煙者
p271	式 11.45	$y=j$ の場合	$y>j$ の場合
p271	式 11.45	$y \neq j$ の場合	$y \leq j$ の場合
p273	式 11.50	$y \neq j$ の場合	$y > j$ の場合
p275	式 11.57	$t_{v_{v_1} \dots v_{l_l}}^{V_{i_1} \dots i_{l_l}}$	$t_{v_{v_1} \dots v_{l_l}}^{V_{i_1} \dots V_{i_{l_l}}}$
p277	12	モデル相互独立性	モデルが独立

頁	行	訂正前	訂正後
p278	式 11.64 の分母	$\begin{pmatrix} n_1 \\ u_1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} n_M \\ u_M \end{pmatrix}$	$\sum_u \begin{pmatrix} n_1 \\ u_1 \end{pmatrix} \cdots \begin{pmatrix} n_M \\ u_M \end{pmatrix}$
p279	式 11.65	$-\psi(\varphi)+\varphi j$	$-\psi(\varphi)+\varphi_j$
p279	下 13	$\exp(\varphi j)$	$\exp(\varphi_j)$
p279	下 8	$\alpha_g + \beta_j$	$\alpha_g + \beta_j$
p280	下 7	定数 1 ととする	定数 1 ととする
p281	式 11.72	\cdots	\cdots
p282	4	主対角成分上が	主対角成分が
p288	2	参考されたい	参考にされたい
p288	5	α', β, γ	α', β, γ
p300	下 8	ものとなる	ものである
p309	式 3	$\mu(\beta)$	$u(\beta)$
p309	9	負値の期待値	負の期待値
p316	6	$/\text{Var}$	次の行の「 (s^2_n) 」と合わせて「 $/\text{Var}(s^2_n)$ 」とする
p335	下 5	x_j とし	x_j とし
p337	下 1	P_0 は対照に	p_0 は対照に
p340	下 5	制御するデザイン	制御が試みられる他のデザイン
p342	7	generalizedMantel-	generalized Mantel-
p348	下 5	前向き研究では	前向き研究は
p348	下 3	直接に与える	直接与える
p348	下 3	後ろ向き研究では	後ろ向き研究は
p355	下 10	向きの解析	向き解析

頁	行	訂正前	訂正後
p362	式 14.10		(3 行目の式の前に以下の式を挿入) $= \frac{\exp[Y_{i1}\{\beta + g(Z_i)\} + Y_{i2}g(Z_i)]}{\exp[Y_{i1}\{\beta + g(Z_i)\} + Y_{i2}g(Z_i)] + \exp[Y_{i2}\{\beta + g(Z_i)\} + Y_{i1}g(Z_i)]}$
p367	2 式		式の右に「(j=1, ..., t に対して)」を追加.
p373	問 14.4 (a)の 2 行目と 3 行目	$\ln \frac{P(X=0 Y=1,Z)}{P(X=0 Y=1,Z)}$	分母の「Y=1」を「Y=0」に訂正
p378	下 8	VIF > 1s	VIF > 1
p383	下 7	2 つ組	2 つの組
p389	表 15.5	(Y ₁ , Y ₁)	「(Y ₁ , Y ₂)」に訂正(2 箇所)
p404	6	e ^{0.08} =2.4	e ^{0.88} =2.4
p404	下 6	MiniMental	Mini Mental
p413	下 8	と μ _{ij} =	と μ _i =
p431	5 式	= {x̂ ₁ (1-x̂ ₁) ² }	= {x̂ ₁ (1-x̂ ₁) ² }
p437	6 式		n* _{1i} の分母の「a _{oi} 」を「a _{o+} 」に訂正
p437	7 式		n* _{2i} の分母の「b _{oi} 」を「b _{o+} 」に訂正
p440	式 16.16 の(d)	1.0121	1.0112
p445	式 16.23		分母の「P(Y _i X _i =x Z _i)」を「P(Y _i X _i =x, Z _i)」に訂正
p449	8	得られこと	得られること
p472	表 16.27		表内の(16.51)の推定値「η _Y 」を「η _X 」に訂正
p474	2 式		「u _i =」を「u _i 」に訂正 括弧内の 1 行目の「Y ₁ P ₁ 」を「Y _i P ₁ 」に訂正
p476	問 16.5 の 最初の式の分母		「∂β」を「∂β [*] 」に訂正

頁	行	訂正前	訂正後
p476	問 16.7		「=0)」 を「=1)」 に訂正
p485	5	心電図の読み	心電図の解釈
p485	9	状態の形式	状態の決定
p485	下 4	一方, …については	(この一文を前行の後に移す.)
p519	下 6	$p_1q_1+p_2q_1$	$p_1q_2+p_2q_1$
p521	4	0 を超える	0 以外の
p521	下 3 式	$+0.10)]^2$	$+0.10)^2]$
p522	式 18.24	$w_{ij} = 1$	$w_{ii} = 1$
p525	下 1	表現は	式は
p532	式 18.54	$(1-P_{11})$	$(P - P_{11})$
p546	式 19.16		「c」を大文字「C」にする.
p547	式 19.23		「c」を大文字「C」にする.
p606	2	左右される	支配される
p609	2 式の分母	$1, -\theta$	$1 - \theta$
p615	下 7	失明/ O_2	失明/ O_2
p620	4	同位のゼロの確率を	確率ゼロで生じる同位を
p627	問題 16.11 の (B)	$P(R_X X,Z,R_X=0)$	$P(R_Y X,Z,R_X=0)$